



新国立劇場 2023/2024 シーズンオペラ

ヴェルディ

椿 姫

La Traviata / Giuseppe Verdi

2024年5月16日(木)～5月29日(水)

会場:新国立劇場 オペラパレス 2024年3月9日(土) 10:00～ 前売開始



『椿姫』 2022年公演より

パリ社交界に咲いた真実の恋 オペラの代名詞『椿姫』をオペラパレスで

オペラの代名詞的作品として、圧倒的人気を誇るヴェルディの傑作『椿姫』。華やかなパリ社交界を舞台に、高級娼婦ヴィオレッタの純愛と悲劇的な運命が、美しくドラマティックな音楽で描かれます。幕開けの夜会で歌われる有名な「乾杯の歌」をはじめ、愛に揺れるヴィオレッタのアリア「ああ、そは彼の人か～花から花へ」など名曲が次々に続き、オペラの醍醐味に満ちた決定的名作です。新国立劇場のブサール演出は、スタイリッシュで美しい舞台と洗練された衣裳も大きな見どころ。誇り高く生きた女性ヴィオレッタの姿が細やかな心理表現で描かれ、深い共感を誘います。求心的な演出がオペラパレスを感動に包む、大好評のプロダクションです。

ヴィオレッタに中村恵理。胸揺さぶる圧巻の表現力は必見。

ヒロインのヴィオレッタは、世界的ソプラノとして活躍する中村恵理が 2022 年公演に続き登場。圧巻の歌唱力とドラマティックな感情表現に定評ある中村のヴィオレッタには、胸揺さぶられること間違いありません。アルフレードにはイタリアの新星リカルド・デッラ・シユッカが出演。指揮はイタリアの著名劇場で活躍する注目の指揮者フランチェスコ・ランツィロットが待望の登場です。

<資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

屈指の人気を誇るヴェルディ珠玉のオペラ

世界中でオペラの代名詞として愛されているヴェルディ中期の傑作『椿姫』。悲劇的な前奏曲、ガラ・コンサートの華やかな定番曲「乾杯の歌」や、真実の愛に揺れるヴィオレッタの超絶技巧のアリア「ああ、そは彼の人か～花から花へ」、父ジェルモン切々たる「プロヴァンスの海と陸」など、誰も耳にしたことのある名曲の数々が、高級娼婦ヴィオレッタの愛と悲しい運命を物語ります。

演出のヴァンサン・ブサールは色彩にこだわる洗練されたビジュアルの舞台に定評があり、この『椿姫』でもその美的センスを存分に発揮。高さ12メートルものシャンデリアや巨大な鏡に囲まれた舞台で効果的に心象風景を描出し、男性社会に誇り高く生きる女性ヴィオレッタの姿を印象付けます。



オペラファン必見！世界で絶賛されるソプラノ中村恵理、ヴィオレッタで登場



悲劇のヒロイン、ヴィオレッタに出演するのは、世界的ソプラノとして活躍し、叙情的な声と見事なコントロール技術、そして心揺さぶるドラマティックな感情表現により、「完璧な重みの豊かな声」「驚異的テクニック」「耐えがたいほど感動的」「オペラの奇跡」と欧米各メディアから絶賛される中村恵理。急遽ヴィオレッタ役に出演した2022年公演に続き、うれしい再登場となります。新国立劇場開場以来、シーズン公演でヴィオレッタを歌った日本人歌手は、中村恵理が初。コンサートなどで国内でも人気を博す中村恵理の真骨頂といえるヴィオレッタを、ぜひオペラパレスの舞台でご覧ください。

アルフレードには、イタリアの新星テノール、リッカルド・デッラ・シュッカ、ジェルモンにグスターボ・カスティーリョと、スカラ座アカデミー出身の若手が来日。指揮は、イタリアの著名劇場

場をはじめ欧州各地の歌劇場、オーケストラで引っ張りだこの注目の指揮者フランチェスコ・ランツィロッタが待望の登場となります。



<「椿姫」あらすじ>

パリの高級娼婦ヴィオレッタは、富豪の息子アルフレードからの求愛にためらいながらも、真摯な愛に心を開く。二人は郊外で一緒に暮らす。アルフレードの父ジェルモンがヴィオレッタを訪れ、自分の娘の縁談のためにも二人の関係を終わらせるよう頼む。ヴィオレッタは涙をのんで身を引く。これを裏切りと捉えたアルフレードは夜会で彼女を罵倒するが、やがて誤解と分かった時は既に遅く、ヴィオレッタは病床で愛するアルフレードに看取られ息絶える。

<新国立劇場『椿姫』2019年公演ダイジェスト動画>

<https://youtu.be/BunFHJFPgkM?si=lv1Fqin66dWERAae>

<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】フランチェスコ・ランツィロッタ

Francesco LANZILLOTTA

ローマ出身。イタリアの著名劇場に定期的に客演。2010～14年ヴァルナ歌劇場首席指揮者、14年～17年トスカニーニ・フィル音楽監督、17年～21年マチュエラータ音楽祭音楽監督を務める。トリノ王立歌劇場、フェニーチェ歌劇場、サン・カルロ歌劇場、パレルモ・マッシモ劇場、ローマ歌劇場、フィレンツェ歌劇場、ボローニャ歌劇場、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルなどイタリアの歌劇場をはじめ、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン州立歌劇場、ザクセン州立歌劇場、チューリヒ歌劇場、モネ劇場、リヨン歌劇場などで国際的に活躍。22年には『清教徒』でウィーン国立歌劇場にデビュー。近年はフランクフルト歌劇場『椿姫』『ウリッセ』、ポリショイ劇場『フィガロの結婚』、トリノ王立歌劇場『ノルマ』などを指揮。20世紀音楽や現代音楽、現代オペラにも注力する。スイス・イタリアーナ管弦楽団、ボルツァーノ・ハイドン管



弦楽団、RAI交響楽団、パルマ・トスカニーニ交響楽団、トスカニーニ管弦楽団、ミラノ・ヴェルディ管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、モンペリエ歌劇場管弦楽団などオーケストラへの客演も多い。作曲家としても数々の賞を受賞し、バレエや映画、演劇のための音楽を作曲している。新国立劇場初登場。

【演出・衣裳】ヴァンサン・ブサール

Vincent BOUSSARD

1999年コメディ・フランセーズにて演出家デビュー。これまでに、ベルリン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、フランクフルト歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、アン・デア・ウィーン劇場、スウェーデン王立歌劇場、モネ劇場、サンフランシスコ・オペラ、エクサン・プロヴァンス音楽祭、インスブルック音楽祭など各地の歌劇場や音楽祭に登場。演出作品には、パーセル『デイドとエネアス』、ヘンデル『テオドーラ』、シャルパンティエ『オルフェウスの冥府下り』、カヴァッリ『エリオガバロ』などのバロック・オペラ、メノッティ『マリア・ゴロヴィン』、ブノワ・メルニエ『春の目覚め』などの現代オペラのほか、『偽の女庭師』『カプレーティ家とモンテッキ家』『カルメン』『蝶々夫人』『サロメ』『アドリアーナ・ルクヴルール』『キャンディード』など多岐に渡る。最近では、ストラスブール・ラン歌劇場で『椿姫』、リトアニア国立オペラ『マノン』、ザルツブルク・イースター音楽祭『オテロ』、ザンクト・ガレン歌劇場『ローエン格林』、リセウ大劇場『カプレーティ家とモンテッキ家』、ワロン王立歌劇場『清教徒』などを演出。幾つかのプロダクションはテレビ放映やDVD化され、『春の目覚め』はディアパソン・ドール賞を受賞している。



【ヴィオレッタ】中村恵理(ソプラノ)

NAKAMURA Eri

大阪音楽大学、同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第5期修了。2008年英国ロイヤルオペラにデビュー。翌年、同劇場の『カプレーティ家とモンテッキ家』にネレブコの代役として出演し、一躍脚光を浴びる。10～16年はバイエルン州立歌劇場専属歌手となり、『フィガロの結婚』スザンナ役でデビュー後、ケント・ナガノ、キリル・ペトレンコ、大野和士の指揮のもと、『魔笛』『ホフマン物語』『ヘンゼルとグレーテル』『ボリス・ゴドゥノフ』などに主要キャストとして出演。英国ロイヤルオペラに『フィガロの結婚』スザンナ、『ウェルテル』ソフィー、『トゥーランドット』リユー、『蝶々夫人』タイトルロールなどで客演に招かれるほか、ベルリン・ドイツ・オペラ、ザルツブルク州立劇場など客演多数。16年、『チェネレントラ』クロリンダでウィーン国立歌劇場にデビュー。19年には台中国家歌劇院の『神々の黄昏』ヴォークリンデに出演。今シーズンはスウェーデン王立歌劇場に『蝶々夫人』タイトルロール、イングリッシュ・ナショナル・オペラに『マリア・カラスの7つの死』ヴィオレッタでデビューした。12年度アリオン賞、15年度芸術選奨文部科学大臣新人賞、17年JXTG音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。大阪音楽大学客員教授、東京音楽大学非常勤講師。新国立劇場では『フィガロの結婚』バルバリーナ、スザンナ、『イドメネオ』イーリア、『ファルスタッフ』ナンネッタ、『トゥーランドット』リユーなど出演多数。21年には『蝶々夫人』タイトルロール、22年『椿姫』ヴィオレッタに出演し絶賛された。



【アルフレード】リッカルド・デッラ・シュッカ(テノール)

Riccardo DELLA SCIUCCA

イタリア・アトリ出身。音楽と並行して人文科学も学び、ミラノのカトリック・デル・サクロ・クオーレ大学を哲学で卒業。2017年、ミラノのアドリアーナ・マリポンテ国際声楽コンクール、アンジェロ・ロフォレス国際オペラコンクールに優勝。ミラノ・スカラ座アカデミーに参加し、18年アカデミー公演『アリババと40人の盗賊』ナディール役でデビュー。また、子どものための『愛の妙薬』ネモリーノに出演したほか、スカラ座のオペラ公演に出演を重ねる。20年にはフィレンツェ歌劇場『オテロ』カッシオに出演。21年パルマ・ヴェルディ音楽祭で『シモン・ボッカネグラ』ガブリエーレ・アドルノ、パヴィアのフラスキーニ劇場などでニーノ・ロータ『ナポリ・ミリオナリア』のエリコ・セッテベレッツェ、22年にはザルツブルク音楽祭『ルチア』アルトゥーロ、エアフルト劇場『椿姫』アルフレード、ワロン歌劇場『イドメネオ』アルパーチェに、23年にはルーマニア国立歌劇場、カリアリ歌劇場で『椿姫』アルフレードなどに出演。22年兵庫県立芸術文化センター『ラ・ボエーム』ロドルフォに出演。新国立劇場初登場。



【ジェルモン】グスターボ・カスティージョ(バリトン)

Gustavo CASTILLO

ベネズエラ・バルキシメト出身。エル・システマで音楽教育を受け、2016年～18年はミラノ・スカラ座アカデミーメンバーとなる。スカラ座で『ヘンゼルとグレーテル』ペーター、子どものための『セビリアの理髪師』フィガロを歌いデビュー。ベルン歌劇場『ドン・カルロ』ロドリゴ、ボローニャ歌劇場『蝶々夫人』シャープレス、カリアリ歌劇場『ヘンゼルとグレーテル』ペーター、オビエド歌劇場『ルチア』エンリーコ、ミラノ・スカラ座『セビリアの理髪師』フィガロに出演。最近では、バーリ・ペトルツェツェリ劇場『ロメオとジュリエット』マキューシオ、クラーゲンフルト歌劇場『仮面舞踏会』レナート、ボローニャ歌劇場『シチリアの晩鐘』モンフォール、クラーゲンフルト歌劇場『マノン』レスコー、トリノ王立歌劇場『西部の娘』ジェイク・ウォレスに出演している。コンサートでは、ボストン交響楽団、シンシナティ交響楽団と『カンタータ・クリオージャ』に出演したほか、サレルノ・ヴェルディ劇場でロサンゼルス・フィルと『カルミナ・ブラーナ』に出演している。22年兵庫県立芸術文化センター『ラ・ボエーム』マルチェロに出演。新国立劇場初登場。



新国立劇場 2023/2024 シーズン オペラ

ジュゼッペ・ヴェルディ 椿姫 全3幕

〈イタリア語上演／日本語及び英語字幕付〉

La Traviata / Giuseppe VERDI

【公演日程】2024年5月16日(木)19:00／19日(日)14:00／22日(水)14:00／25日(土)14:00／29日(水)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:29,700円・A:24,200円・B:17,600円・C:11,000円・D:7,700円・Z:1,650円

【前売り開始】2024年3月9日(土) 10:00～

※予定上演時間 約2時間45分(休憩含む)

指揮	フランチェスコ・ランツィロットタ	ヴィオレッタ	中村恵理
Conductor	Francesco LANZILLOTTA	Violetta Valéry	NAKAMURA Eri
演出・衣裳	ヴァンサン・ブサール	アルフレード	リッカルド・デッラ・シュッカ
Production and Costume Design	Vincent BOUSSARD	Alfredo Germont	Riccardo DELLA SCIUCCA
美術	ヴァンサン・ルメール	ジェルモン	グスターボ・カステイーリョ
Set Design	Vincent LEMAIRE	Giorgio Germont	Gustavo CASTILLO
照明	ガイド・レヴィ	フローラ	杉山由紀
Lighting Design	Guido LEVI	Flora Bervoix	SUGIYAMA Yuki
ムーヴメント・ディレクター	ヘルゲ・レトニーヤ	ガストン子爵	金山京介
Movement Director	Helge LETONJA	Visconte Gastone	KANAYAMA Kyosuke
再演演出	澤田康子	ドゥフォーール男爵	成田博之
Revival Director	SAWADA Yasuko	Barone Douphol	NARITA Hiroyuki
		ドビニー侯爵	近藤 圭
		Marchese D'Obigny	KONDO Kei
		医師グランヴィル	久保田真澄
		Dottor Grenvil	KUBOTA Masumi
		アンニーナ	谷口睦美
		Annina	TANIGUCHI Mutsumi
		ジュゼッペ	高嶋康晴
		Giuseppe	TAKASHIMA Yasuharu
		使者	井出壮志朗
		Commissionario	IDE Soshiro
		フローラの召使	上野裕之
		Domestico di Flora	UENO Hiroyuki

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/latraviata/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* 2席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】



【11】



【12】

新国立劇場『椿姫』2022年公演より 撮影:堀田力丸